



PARAMOUNT BED
HOLDINGS

2023年3月期 決算説明会

2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

2023年5月18日

証券コード：7817

パラマウントベッドホールディングス株式会社

as human, for human

2023年3月期 円安・原材料高騰の影響も過去最高益 各事業の需要増を確実に取り込む

新型コロナウイルス・半導体等資材調達懸念の影響は結果としては軽微。
原価増も需要拡大や価格改定効果等で、通期で売上利益とも過去最高に。

2024年3月期 パラマウントビジョン2030第Ⅰフェーズ最終年

「変革への基盤構築」等、中長期成長に向けた施策を確実に進める。
第3四半期に新基幹業務システムを稼働。
関連費用が上期に集中も通期増収増益へ。

リカーリングビジネスの拡大で業績向上

費用増や新型コロナの5類変更による医療施設経営への影響、
在宅介護向け製品サイクル影響等により国内ベッド需要は減少。
医療・介護の働き方改革ニーズをとらえたりカーリングビジネス拡大や、
健康事業および海外向けを強化。

1. 2023年3月期 決算概要
2. 事業別概要
3. 2024年3月期 見通し
4. 中期経営計画の進捗について
5. トピックス

1. 2023年3月期 決算概要

1-1. 決算概要

増収増益決算 前期に引き続き売上利益とも過去最高を更新
年間配当を4円増。

(単位：百万円)

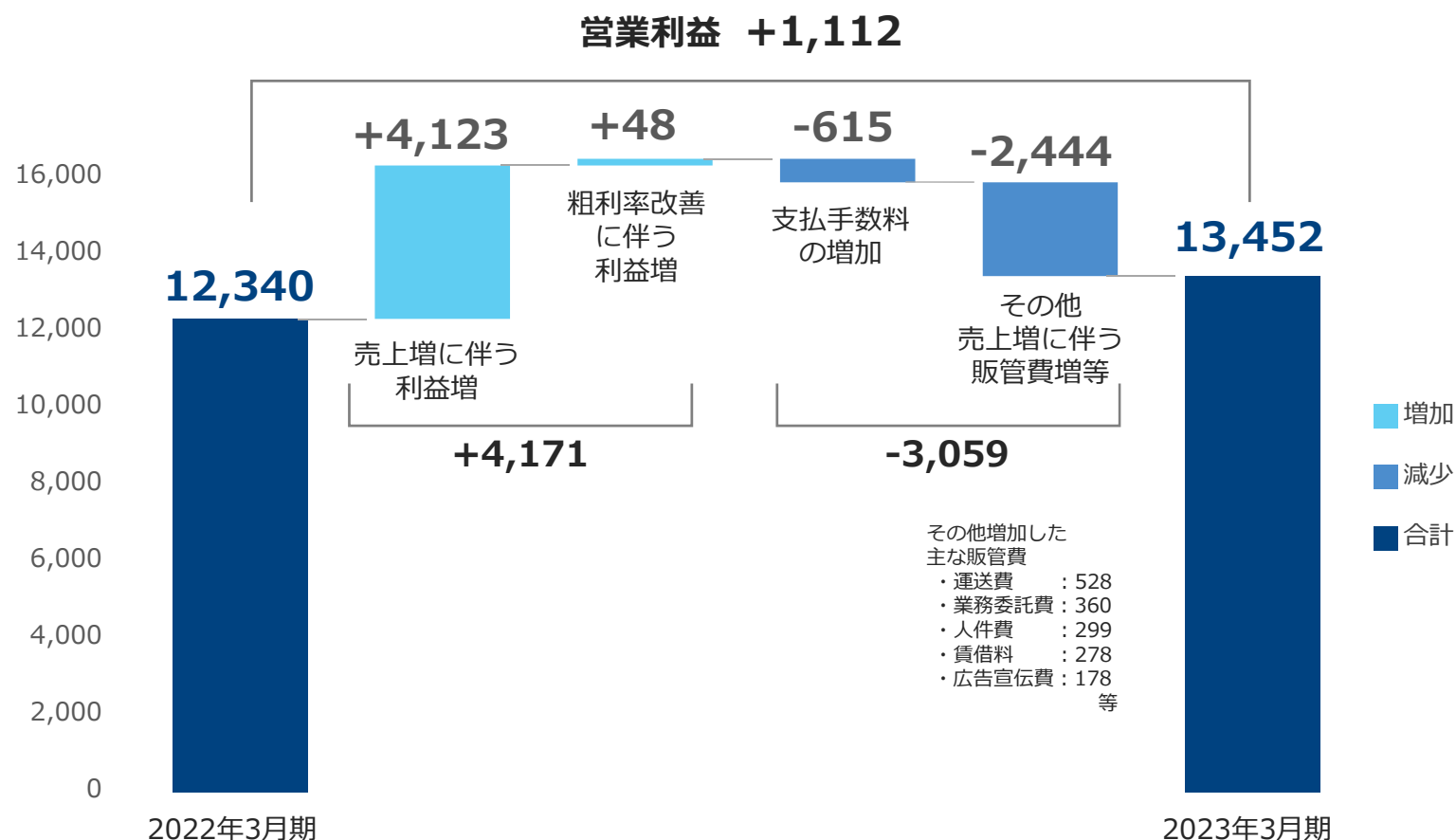
	2022年3月期	2023年3月期			
	実績	予算	実績	予算比	前期比
売上高	90,352	94,000	99,009	+5.3%	+9.6%
営業利益 (営業利益率)	12,340 (13.7%)	12,500 (13.3%)	13,452 (13.6%)	+7.6%	+9.0%
経常利益 (経常利益率)	13,543 (15.0%)	12,900 (13.7%)	14,139 (14.3%)	+9.6%	+4.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	9,092 (10.1%)	8,800 (9.4%)	9,215 (9.3%)	+4.7%	+1.3%
年間配当金	55円	-	59円	-	+7.2%

1-2. 営業利益増減要因

原価増も需要増・価格改定効果等により通期では増益

販管費増は基幹システム見直しに伴う支払手数料、売上増に伴う各種費用の増加等。

(単位：百万円)



1-3. 財務の状況

純資産70億22百万円増

(単位：百万円)

	2022年3月末	2023年3月末	増減額	前期比
流動資産	94,035	97,135	+3,100	+3.3%
固定資産	70,246	75,158	+4,911	+7.0%
資産合計	164,281	172,293	+8,011	+4.9%
流動負債	25,387	26,300	+912	+3.6%
固定負債	17,218	17,296	+77	+0.5%
負債合計	42,606	43,596	+989	+2.3%
純資産	121,675	128,697	+7,022	+5.8%
負債・純資産合計	164,281	172,293	+8,011	+4.9%

2. 事業別概要

2-1. 医療事業実績

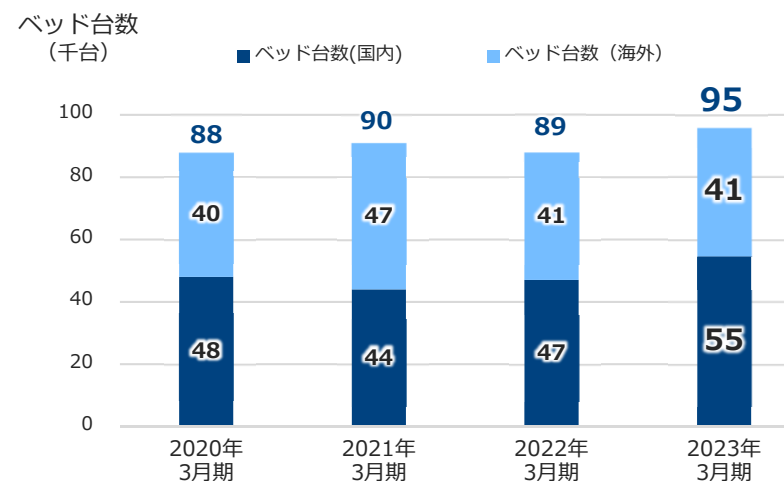
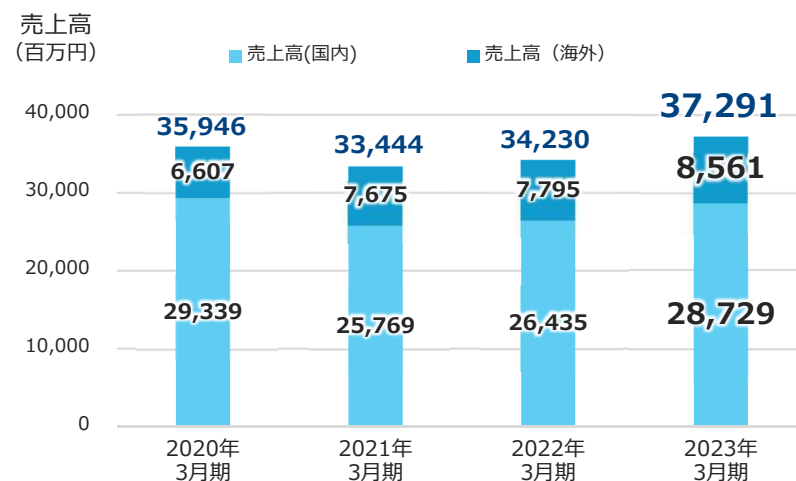
売上高9%増

医療スタッフの働き方改革推進に伴う需要が増加。病院向けレンタル・常駐サービスが引き続き拡大。海外は為替効果等。

(単位：百万円)	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	
				実績	前期比
売上高	35,946	33,444	34,230	37,291	+9%
国内	29,339	25,769	26,435	28,729	+9%
海外	6,607	7,675	7,795	8,561	+10%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)

ベッド販売台数	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	前期比
国内	48	44	47	55	+12%
海外	40	47	41	41	-2%



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用。

2-2. 介護事業実績

国内施設・在宅 ともに二桁増収

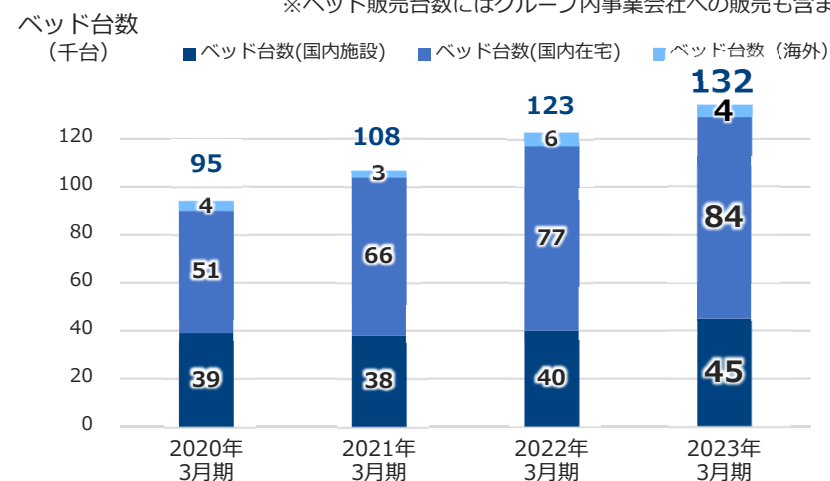
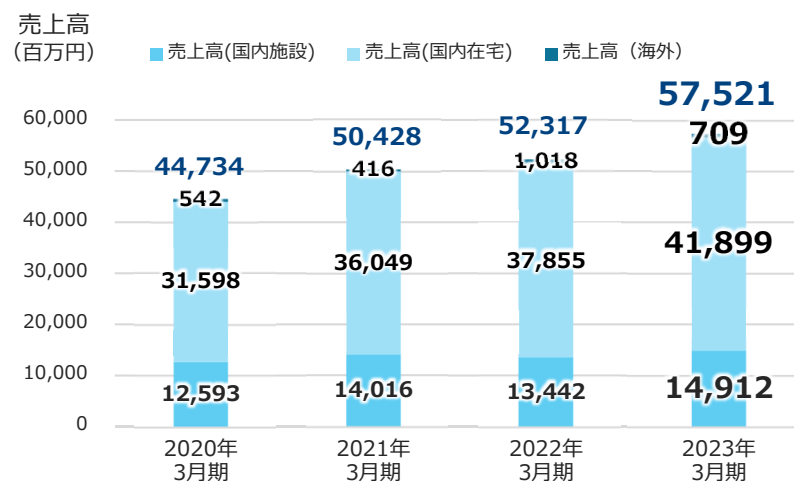
在宅向けは新製品が寄与。
レンタル卸は稼働台数約
19万台（前期比7千台増）。

(単位：百万円)	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	前期比
				実績	
売上高	44,734	50,482	52,317	57,521	+10%
国内介護施設	12,593	14,016	13,442	14,912	+11%
国内在宅介護	31,598	36,049	37,855	41,899	+11%
海外	542	416	1,018	709	-30%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)

ベッド販売台数	95	108	123	132	+8%
国内介護施設	39	38	40	45	+14%
国内在宅介護	51	66	77	84	+9%
海外	4	3	6	4	-39%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用。

2-3. 健康事業実績

引き続き拡大

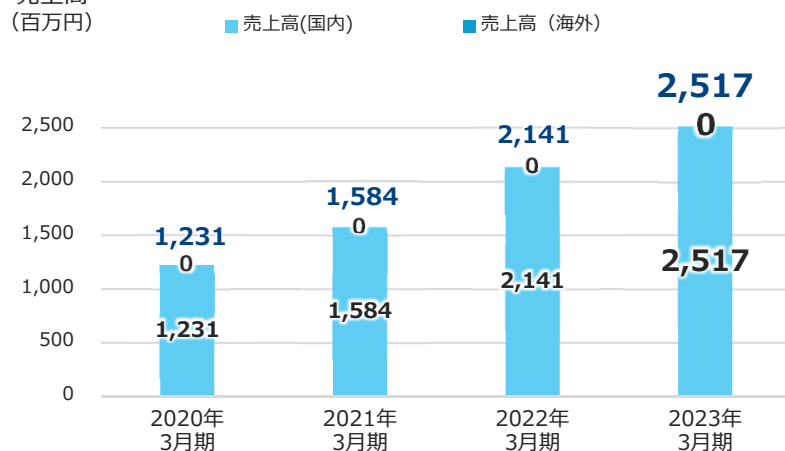
新製品「INTIME3000」
が通年寄与。
販売店向け促進策や
各種PRを強化。

(単位：百万円)	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	
				実績	前期比
売上高	1,231	1,584	2,141	2,517	+18%
国内	1,231	1,584	2,141	2,517	+18%
海外	0	0	0	0	0%

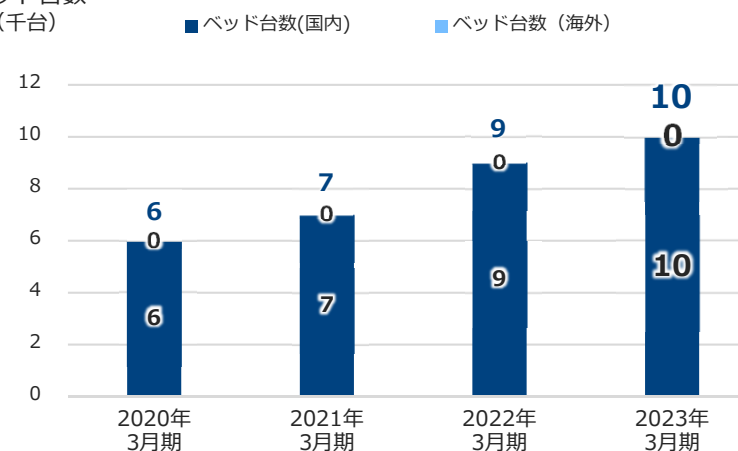
(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)

ベッド販売台数	6	7	9	10	+11%
国内	6	7	9	10	+11%
海外	0	0	0	0	0%

売上高
(百万円)



ベッド台数
(千台)



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用。

2-4. 事業別実績一覧

ベッド台数はトータルで8%増の23.7万台

売上高

(単位：百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	
	実績	実績	前期比
医療事業	34,230	37,291	+8.9%
介護事業	52,317	57,521	+9.9%
健康事業	2,141	2,517	+17.5%
その他	1,662	1,678	+1.0%
合計	90,352	99,009	+9.6%

ベッド販売台数

(単位：千台、千台未満四捨五入)

	2022年 3月期	2023年 3月期	
	実績	実績	前期比
	89	95	+7%
	123	132	+8%
	9	10	+11%
	-	-	-
	220	237	+8%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。

※参考情報（リカーリング売上高）

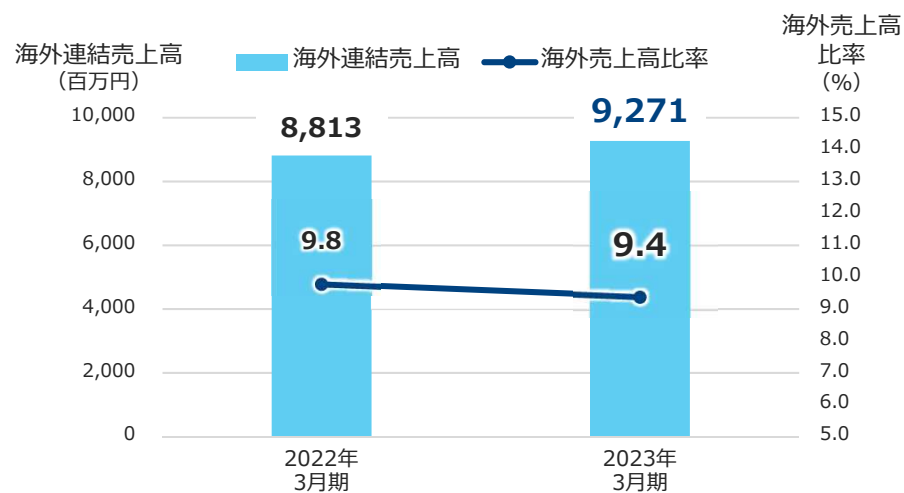
(億円未満切り捨て)

医療事業	54億円	60億円	+12%
介護事業	239億円	256億円	+6%
合計	293億円	316億円	+7%

2-5. 海外地域別売上高

為替効果により増収

(単位：百万円)	2022.3	2023.3	前期比
海外連結売上高	8,813	9,271	+5.2%
海外売上高比率	9.8%	9.4%	-



地域別海外連結売上高

(単位：百万円)	2022.3	2023.3	前期比
アジア	7,923	8,174	+3.2%
インドネシア	2,772	2,874	+3.7%
中国	2,803	3,029	+8.1%
その他アジア	2,346	2,269	-3.3%
中東	68	222	+226.7%
中南米	227	505	+122.8%
その他	595	369	-38.0%

3. 2024年3月期 通期見通し

3-1. 通期見通し

上期はシステム関連費用増などによる減益予算も
通期では増収増益で過去最高を更新

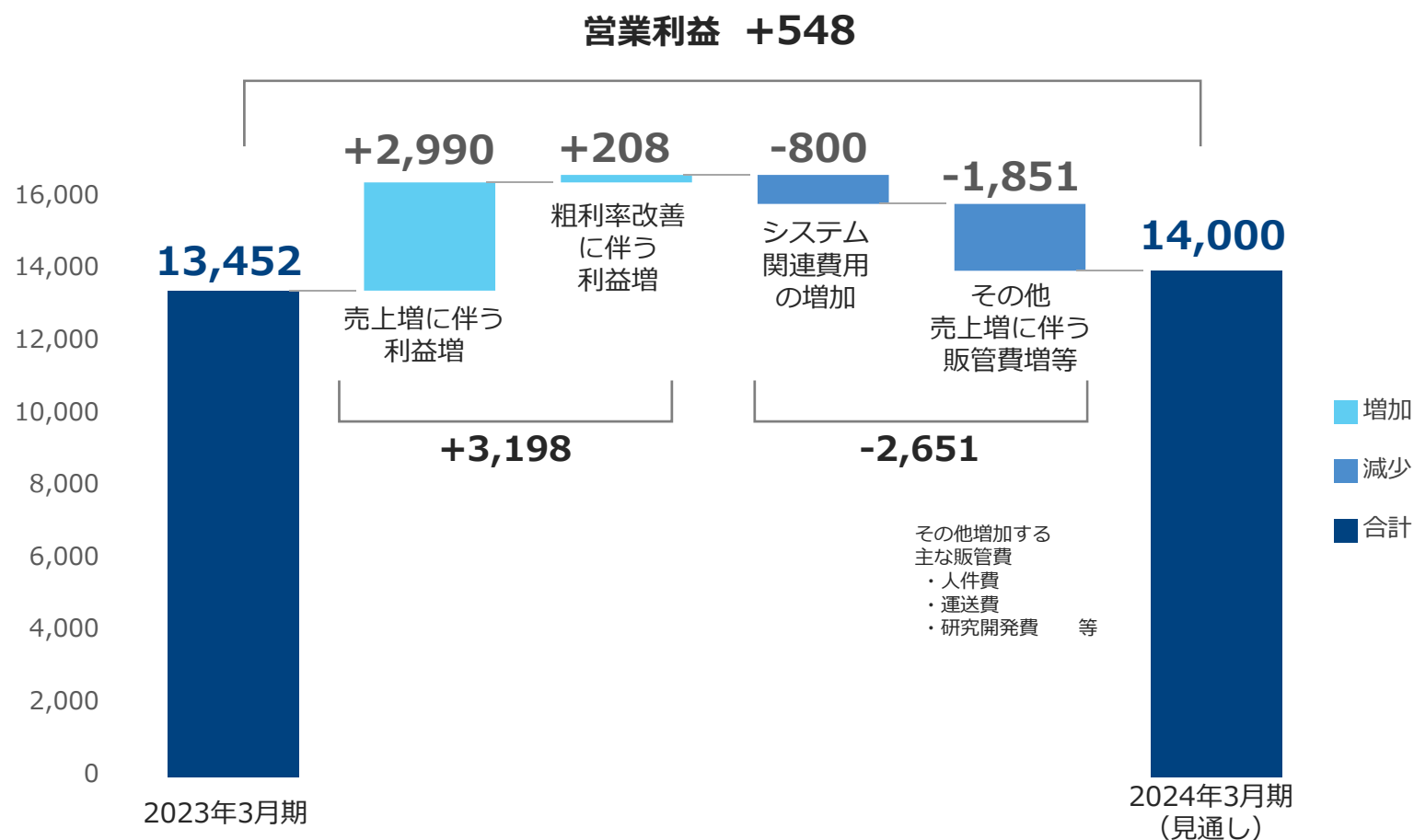
(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期			
	実績	上期	下期	通期見通し	前期比
売上高	99,009	48,700	56,300	105,000	+6.1%
営業利益 (営業利益率)	13,452 (13.6%)	5,600 (11.5%)	8,400 (14.9%)	14,000 (13.3%)	+4.1%
経常利益 (経常利益率)	14,139 (14.3%)	5,850 (12.0%)	8,650 (15.4%)	14,500 (13.8%)	+2.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	9,215 (9.3%)	4,000 (8.2%)	5,800 (10.3%)	9,800 (9.3%)	+6.3%
年間配当金	59円	31円	31円	62円	+5.1%

3-2. 営業利益増減要因

売上増により連続営業増益へ

(単位：百万円)



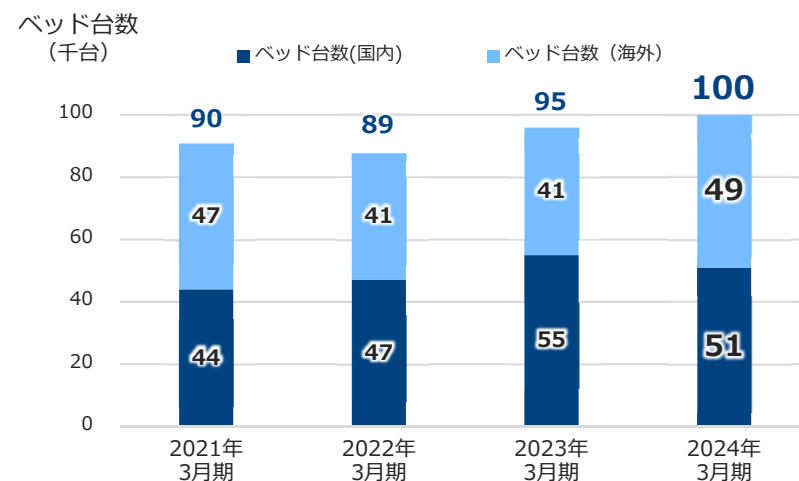
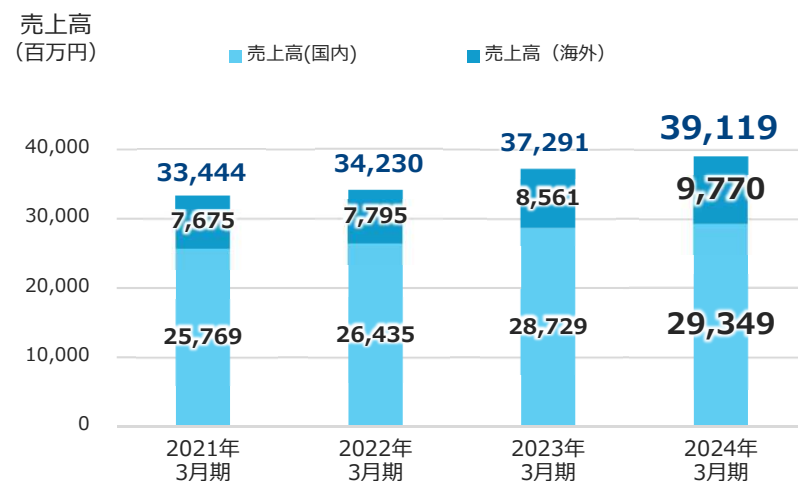
3-3. 医療事業見通し

リカーリングを拡大

国内は台数減予算も
リカーリングビジネス等
を拡大。
海外はインドネシア・
中国・インド等の大型
市場を中心に伸ばす。

	(単位：百万円)	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	
					見通し	前期比
売上高		33,444	34,230	37,291	39,119	+5%
国内		25,769	26,435	28,729	29,349	+2%
海外		7,675	7,795	8,561	9,770	+14%

	(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	
					見通し	前期比
ベッド販売台数		90	89	95	100	+5%
国内		44	47	55	51	-6%
海外		47	41	41	49	+21%



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用。

3-4. 介護事業見通し

備品等を拡販し 確実な増収へ

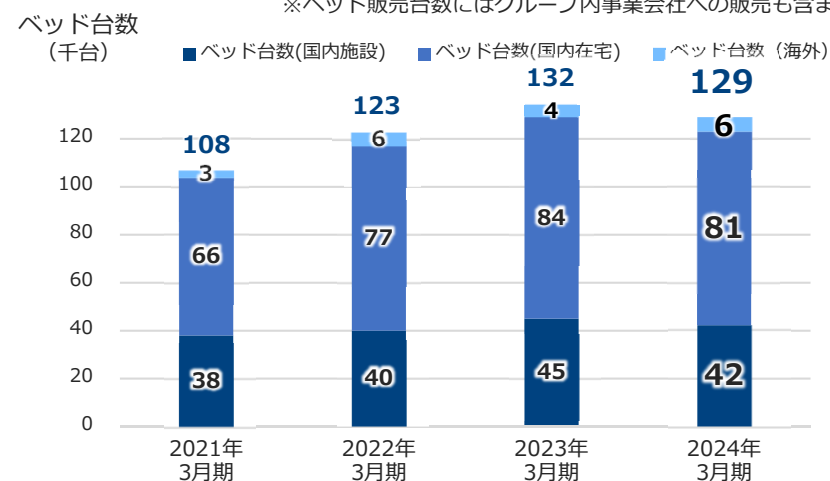
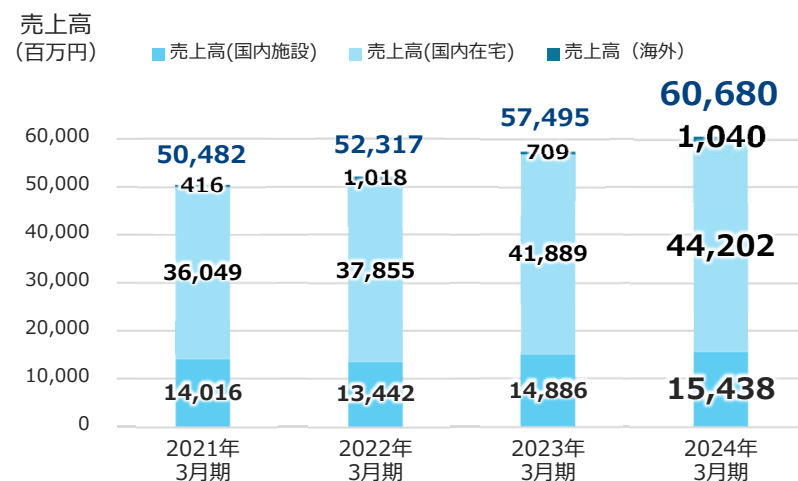
マットレス等備品を拡販。
レンタル卸もオリジナル
品を投入。
施設向けは引き続き「眠り
SCAN」の市場浸透に注力。

(単位：百万円)	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	前期比
				見通し	
売上高	50,482	52,317	57,521	60,669	+6%
国内介護施設	14,016	13,442	14,912	15,438	+4%
国内在宅介護	36,049	37,855	41,899	44,202	+6%
海外	416	1,018	709	1,040	+45%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)

ベッド販売台数	108	123	132	129	-3%
国内介護施設	38	40	45	42	-7%
国内在宅介護	66	77	84	81	-3%
海外	3	6	4	6	+69%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用。

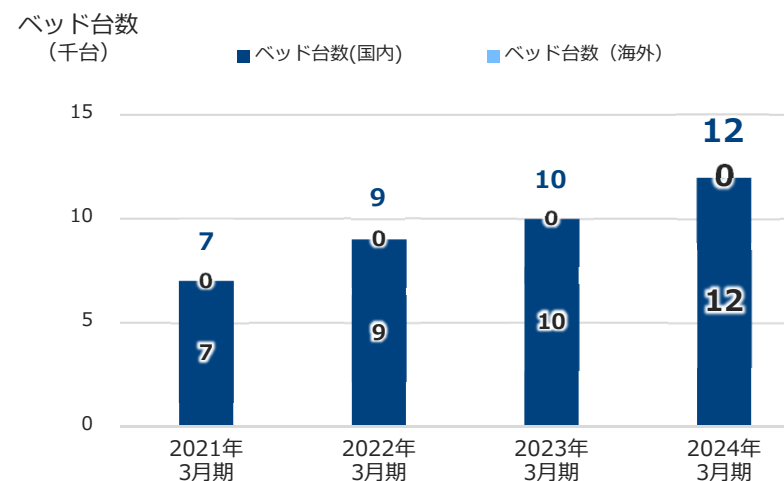
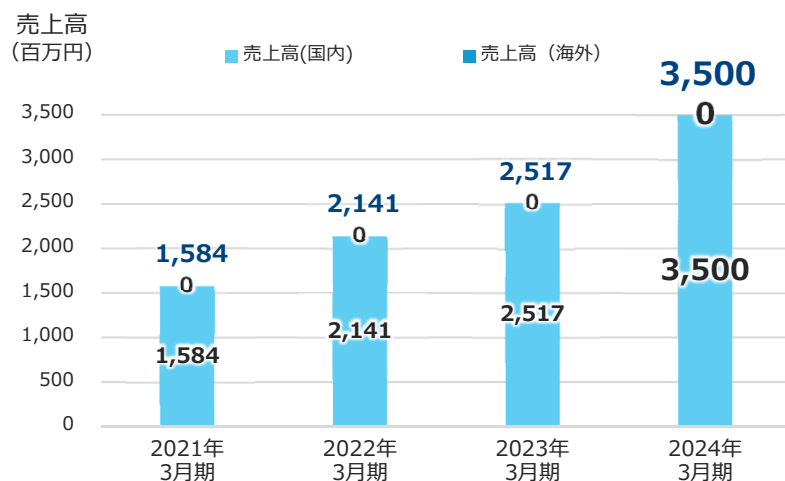
3-5. 健康事業見通し

前期比プラス39%

主力「INTIME1000」を4月にフルモデルチェンジ。引き続き各種PR強化やユーザー満足向上施策、販売店関係強化施策等に注力。

(単位：百万円)	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	
				見通し	前期比
売上高	1,584	2,141	2,517	3,500	+39%
国内	1,584	2,141	2,517	3,500	+39%
海外	0	0	0	0	0%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	7	9	10	12	+26%
国内	7	9	10	12	+26%
海外	0	0	0	0	0%



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用。

3-6. 事業別一覧

ベッド台数は国内医療・介護減も、健康・海外を伸ばし
トータルで24.1万台

売上高

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	
	実績	見通し	前期比
医療事業	37,291	39,119	+4.9%
介護事業	57,495	60,669	+5.5%
健康事業	2,517	3,500	+39.0%
その他	1,678	1,710	+1.9%
合計	99,009	105,000	+6.1%

ベッド販売台数

(単位：千台、千台未満四捨五入)

	2023年 3月期	2024年 3月期	
	実績	見通し	前期比
	95	100	+5%
	132	129	-3%
	10	12	+26%
	-	-	-
	237	241	+2%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。

※参考情報（リカーリング売上高）

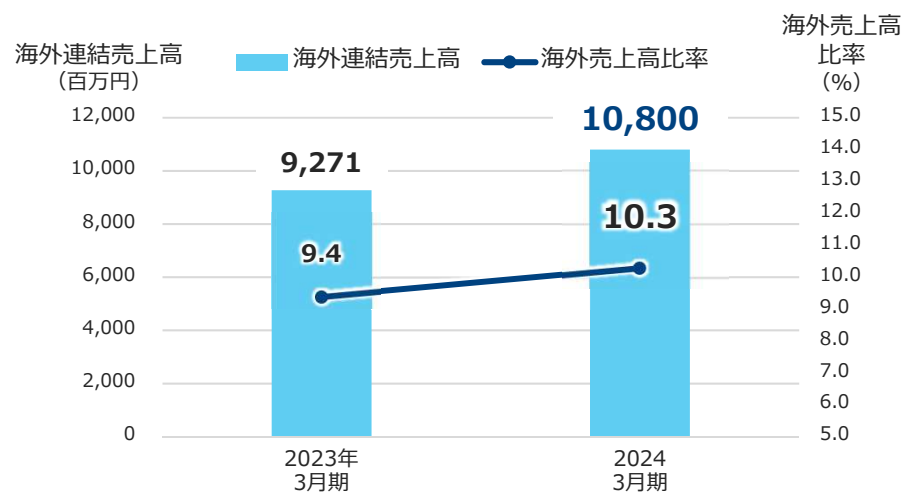
(億円未満切り捨て)

医療事業	60億円	66億円	+9%
介護事業	256億円	274億円	+7%
合計	316億円	340億円	+7%

3-7. 海外地域別売上高

大型市場の拡大に注力

(単位：百万円)	2023.3	2024.3 見通し	前期比
海外連結売上高	9,271	10,800	+16.5%
海外売上高比率	9.4%	10.3%	-



地域別海外連結売上高

(単位：百万円)	2023.3	2024.3 見通し	前期比
アジア	8,174	9,897	+21.1%
インドネシア	2,874	3,657	+27.2%
中国	3,029	3,524	+16.3%
その他アジア	2,269	2,715	+19.7%
中東	222	235	+5.9%
中南米	505	526	+4.0%
その他	369	140	-62.0%

3-8. 設備投資等

設備投資は新基幹業務システム関連投資が増加

その他、インドネシア工場の塗装設備刷新等。

(単位：百万円)	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 予算
設備投資費	2,976	1,822	3,653	3,613
減価償却費	7,540	7,898	8,482	9,671
研究開発費	1,782	1,697	1,753	1,975
従業員数	3,614	3,682	3,946	-

※参考情報

(億円未満切り捨て)

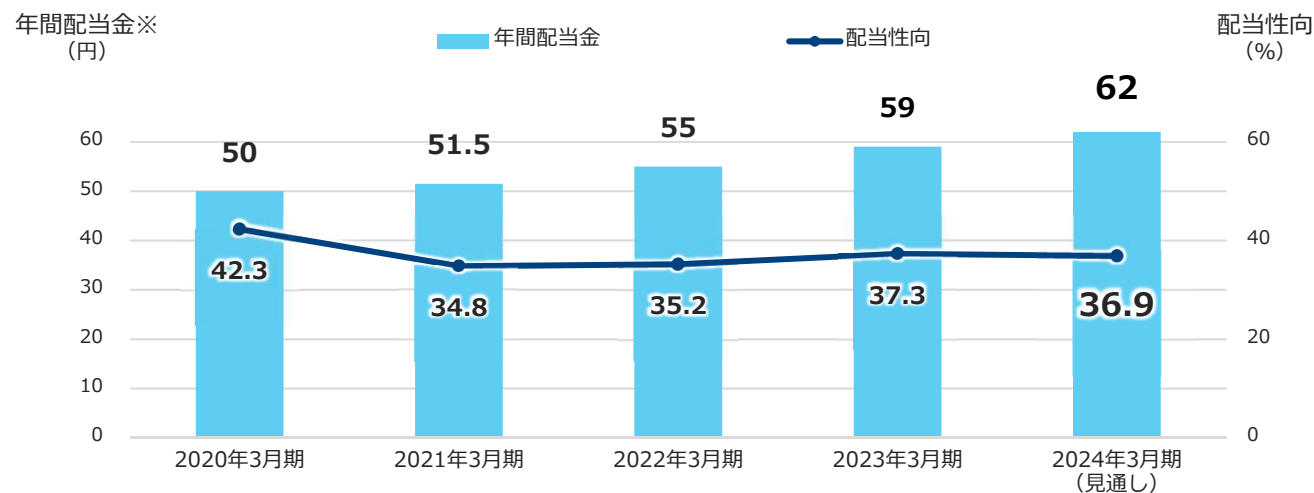
リカーリング資産 投資額	89億円	101億円	101億円	116億円
-----------------	------	-------	-------	-------

3-9. 株主還元（配当・自己株取得）

**基本方針：純資産配当率 2.7%、配当性向 30%を目安に
成長を実感できる安定配当政策**

2024年3月期は年間62円を予定。4期連続の増配を見込む。

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 見通し
年間配当金※	50円	51.5円	55円	59円	62円
純資産配当率（DOE）	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%	-
配当性向	42.3%	34.8%	35.2%	37.3%	36.9%
自己株取得額	4,382百万円	0円	0円	0円	-



※当社は2021年4月1日を効力日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。
上記は、2019年4月1日に当該分割が行われたと仮定した1株当たりの年間配当金を算定しています。

4. 中期経営計画

第Ⅰフェーズ及び第Ⅱフェーズ について

4-1. 経営理念・長期ビジョン・中期経営計画の位置づけ

企業理念

企業理念

先進の技術とやさしさで
快適なヘルスケア環境を創造します

ステートメント

as human, for human

ビジョン

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで
すべての人に笑顔を

中期経営計画

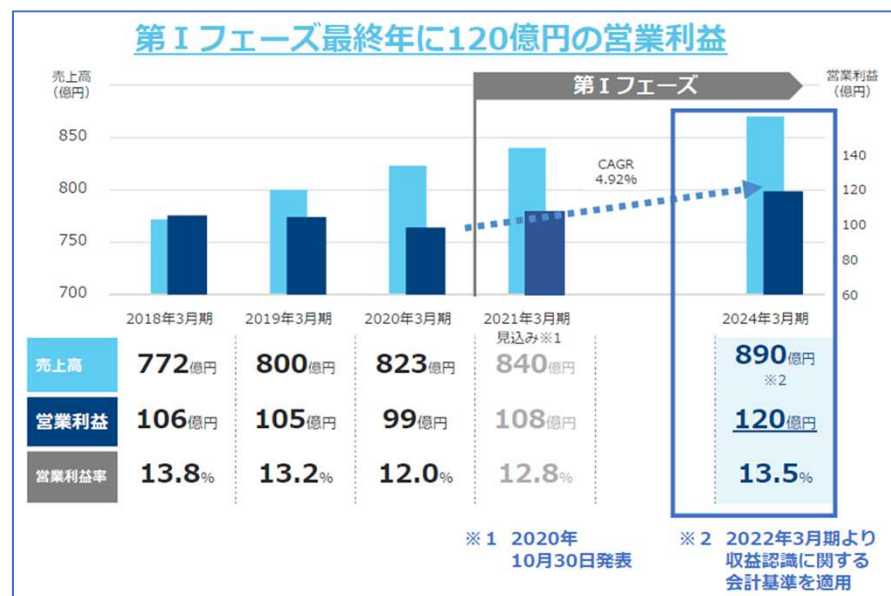
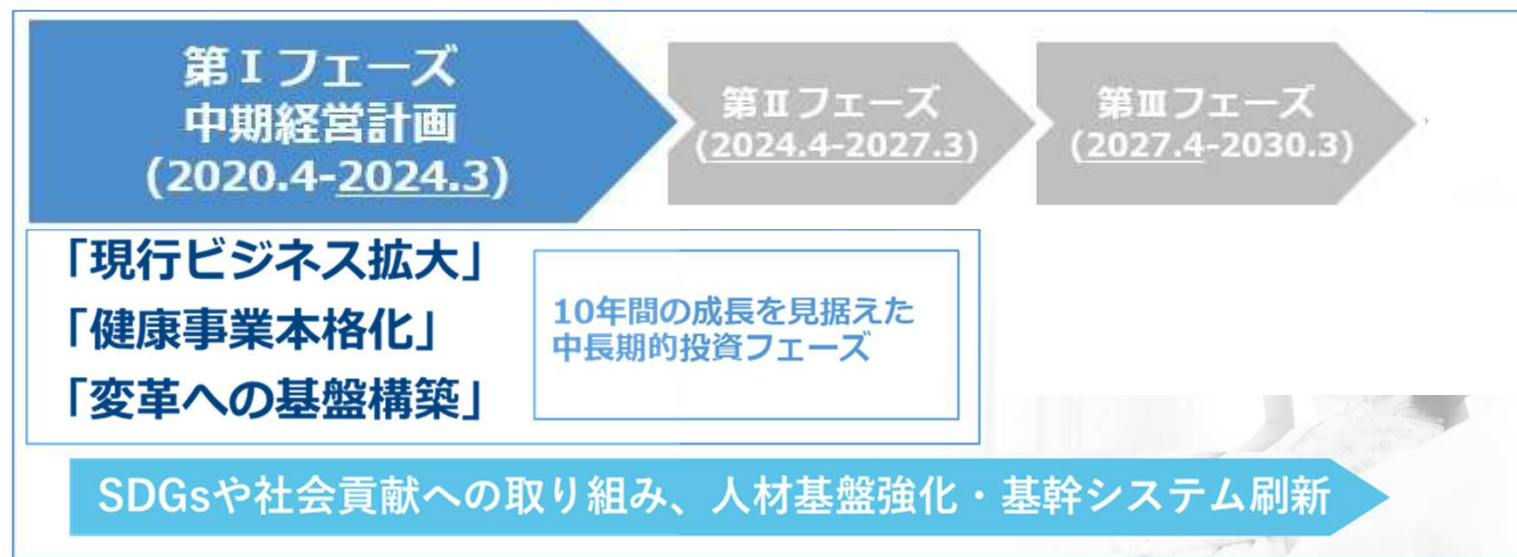
第Ⅰフェーズ (2020.4～2024.3)

第Ⅱフェーズ (2024.4～2027.3)

第Ⅲフェーズ (2027.4～2030.3)



4-2. 第Ⅰフェーズの状況



2021年4月発表資料

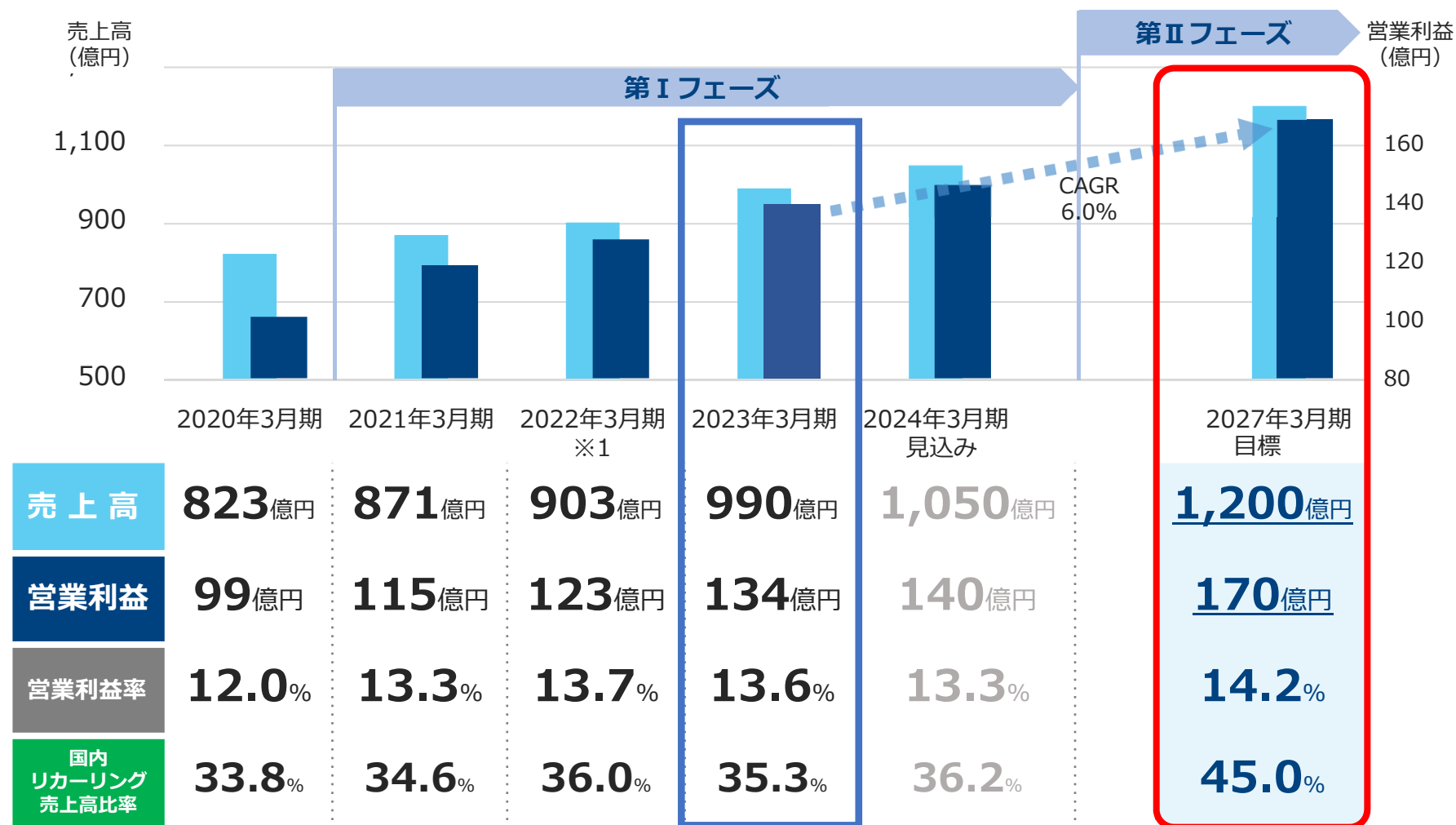
【現況】

・第Ⅰフェーズの業績目標
2024年3月期 営業利益120億 売上890億円を
2022年3月期に超過

第Ⅰフェーズの重点施策を確実に実行するとともに
第Ⅱフェーズの方向性を見据えた活動を

4-3. 第Ⅱフェーズ（2025年3月期～2027年3月期）の業績目標

第Ⅱフェーズ最終年に売上高1,200億円・営業利益170億円



※1 2022年3月期より収益認識に関する会計基準を適用

4-4. 第Ⅱフェーズの方向性・注力ポイント

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで すべての人に笑顔を

2024.3

2027.3

2030.3

第Ⅰフェーズ重点施策

「現行ビジネス拡大」
「健康事業本格化」
「変革へ基盤構築」

第Ⅱフェーズの方向性・注力ポイント

「リカーリングビジネス拡大」

「健康事業の進化」

「アジア注力エリアでの飛躍」

上記実現のため「他社連携による事業拡大・創造」を



お客様のパートナーとして「なくてはならない存在」へ

SDGsや社会貢献への取り組み、人材基盤強化・基幹システム刷新

4-5. 第Ⅱフェーズの方向性・注力ポイント

「リカーリングビジネス拡大」

- 現在のリカーリングビジネス拡大を加速
福祉用具レンタル卸事業（介護事業）
病院向け常駐サービス（医療事業）
病院向けパッケージレンタル（医療事業）
- センシング技術・AI・IoTなどを活用した
新たなリカーリングビジネスメニューを開発



国内における
リカーリング売上高比率
45%へ拡大

「健康事業の進化」

- 睡眠改善製品の拡充
- 健康寿命延伸に資する製品・サービス
- 他社とも連携し利用者を拡大



健康事業売上高
50億円超へ拡大

「アジア注力エリアでの飛躍」

- 拠点国における医療ベッドシェアNo.1
- 販売台数増加を支える生産拠点整備
- 年平均売上高成長率10%を目指す

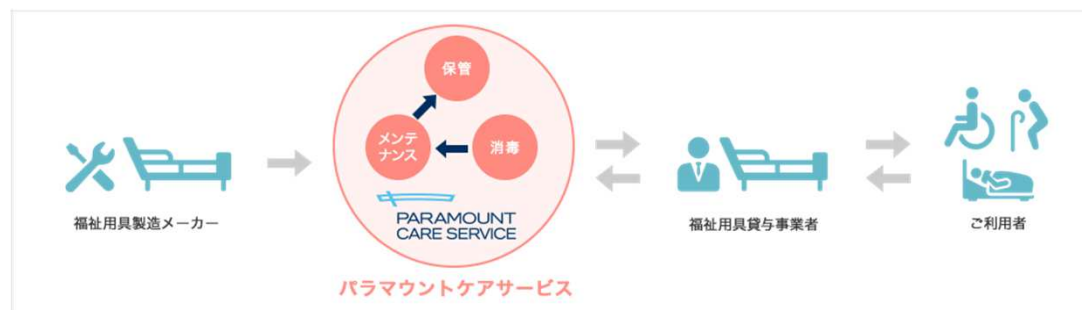


海外売上高
150億円へ拡大

各注力ポイントとも他社連携やCVCを活用して拡大スピードを加速

4-6. リカーリングビジネス（レンタル卸）

福祉用具レンタル卸（パラマウントケアサービス）の業務の流れ



大規模メンテナンスセンターの設置により 効率化の推進と拡大する需要へ対応

北大阪メンテナンスセンター（2022年5月開設）



所在地：大阪府高槻市
延床面積：10,433㎡

※当社最大規模のメンテナンス・保管能力

厚木メンテナンスセンター（2022年11月開設）



所在地：神奈川県厚木市
延床面積：9,712㎡

※千葉大平メンテナンスセンターとの
関東2大規模拠点体制へ

4-7. リカーリングビジネス（病院向け・新規メニュー）

病院向け常駐サービスの一例



備品の管理・修理業務



看護助手業務



コンシェルジュ業務

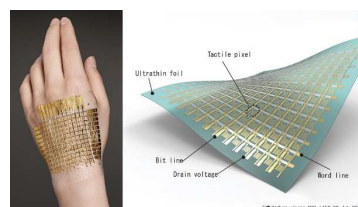
新たなリカーリングビジネスメニューの開発へ

眠りSCANの活用



売り切りでない新しい仕組みへ

スキンエレクトロニクス技術



新しいセンサー技術の活用

CVCによる他社との連携



10月1日にCVCを設立
外部の技術やノウハウ、人脈などを組み合わせ、
新たなシナジーの発揮へ

通称	PARAMOUNT BED Healthcare Fund
ファンド規模	50億円
運用期間	7.5年間
投資領域	医療・介護・健康
運営会社	SBIインベストメント株式会社

現在のリカーリング拡大を加速
新規リカーリングメニューを開発

国内リカーリング売上高比率
36%から45%へ拡大

4-8. 健康事業の進化

医療・介護で培ったノウハウやテクノロジーによる2つのブランド

インタイム

介護ベッドに“変身”できる電動ベッド



新INTIME1000シリーズ



INTIME2000iシリーズイメージ
(ボルドーレッド・睡眠計測センサー搭載)



INTIME3000シリーズイメージ
(キューブタイプ・クラッシーダーク)

アクティブスリープ

“眠りの自動運転”・眠りを採点



睡眠センサーとスマホ専用アプリを連携

- ・リラックス姿勢
- ・100万通りの硬さ調節
- ・眠りの自動運転
- ・日々の睡眠状態を採点
- ・いびき計測

etc.

寝室の中心となるベッドを軸として、
睡眠をより快適にする機能を有した
製品・サービスを展開

健康事業売上高50億円へ拡大

4-9. アジア注力エリアでの飛躍

中国・インド・インドネシアを注力エリアに

各国の状況（2022年3月期、当社推計）

〔中国〕

人口：約14億人 病院ベッド数：約700万床
年間市場規模：約37万台（電動比率約9%）

当社電動ベッドシェア約16%



〔インド〕

人口：約14億人 病院ベッド数：約124万床
年間市場規模：約13万台（電動比率約20%）

当社電動ベッドシェア約20%



〔インドネシア〕

人口：約2.7億人 病院ベッド数：約33万床
年間市場規模：約2.3万台（電動比率約30%）

当社電動ベッドシェア約70%



- インド、中国、インドネシアを注力エリアに
拠点国における医療ベッドシェアNo.1を
- 販売台数増加を支える生産拠点整備
- 年平均売上高成長率10%を目指す



海外売上高150億円へ拡大

4-10. 第Ⅱフェーズの業績目標（海外）

連結海外売上高

（単位：百万円）

	2023年3月期 実績	2027年3月期 目標	2023年3月期 実績比
アジア	8,174	13,500	+65%
インドネシア	2,874	4,900	+70%
中国	3,029	4,600	+52%
その他アジア	2,269	4,000	+76%
アジア以外	1,096	1,500	+37%
合 計	9,271	15,000	+62%
海外売上高比率	9.4%	12.5%	-

4-11. 第Ⅱフェーズの業績目標（事業別）

事業別売上高

（単位：百万円）

	2023年3月期 実績	2027年3月期 目標	2023年3月期 実績比
医療事業	37,291	49,600	+33%
介護事業	57,521	62,900	+9%
健康事業	2,517	5,500	+119%
その他	1,678	2,000	+19%
合 計	99,009	120,000	+21%
営業利益	13,451	17,000	+26%

4-12. キャッシュ配分計画

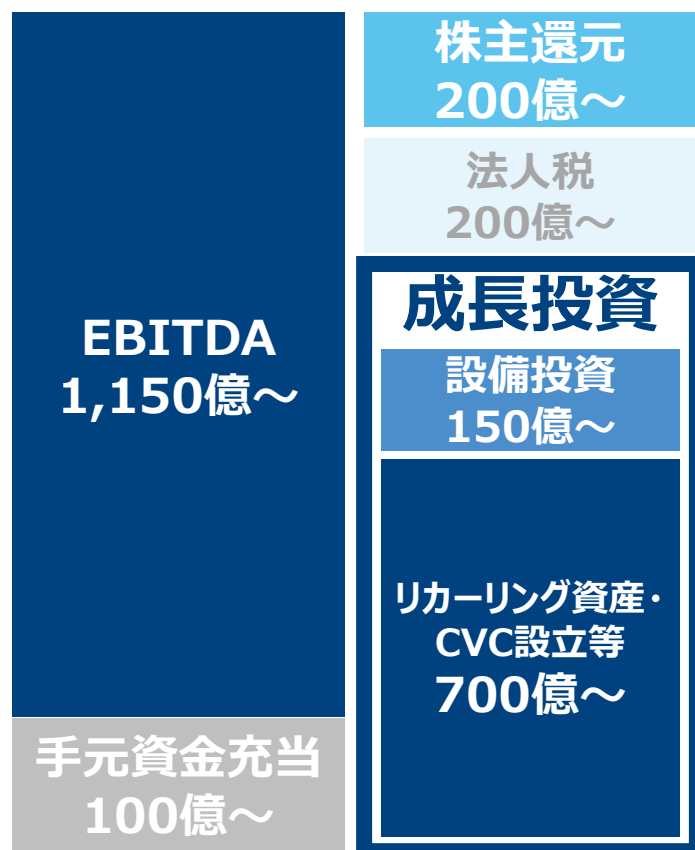
リカーリング資産投資/ベンチャー投資等に重点配分

顧客とのつながりの強化とストック型ビジネスへの転換を目指す

2022～2026年度累計

キャッシュイン

キャッシュアウト



株主還元

純資産配当率(DOE)2.7%と配当性向30%を目安
市場環境等を勘案した機動的な追加還元

成長投資

顧客との継続的な関係を強化するリカーリング資産
生産設備や福祉用具メンテナンス設備増強／基幹システム刷新
事業発展に向けたCVC設立など他社連携を積極的に展開

<手元資金水準の考え方>

月商約3か月分の運転資金

＋ 災害等発生時においても医療・介護に貢献する
製品やサービスを継続的に提供できる体制の維持

5-1. トピックス

健康事業向け新製品

一般家庭向けの主力ベッド「INTIME1000」を 7年振りにフルモデルチェンジして4月に発売

- 優れたデザイン性を持ち必要時には介護用に“変身”する一般家庭向け電動ベッド。
- 従来の電動ベッドで要望が多かった機能や構造を取り入れ利便性を向上。
- ラインアップは幅・機能・デザイン違いなど合計144通り。
- 2023年4月発売。
- 本体価格158,000円（非課税）から。



新「INTIME1000」の使用イメージ。

手元スイッチにLEDライト
やUSBポートを追加。



ロボット掃除機が通れる
すっきり足元構造。



背上げ時でも手が届きやすい
小物入れ（オプション）。



5-2. トピックス

CVCファンドを設立

コーポレート・ベンチャー・キャピタルファンド 「PARAMOUNT BED Healthcare Fund」

- 運営会社：SBIインベストメント株式会社
- 設 立 日：2022年10月1日
- ファンド規模：50億円
- 運用期間：7.5年間
- 投資領域：医療・介護・健康
(ヘルスケア領域における革新的なテクノロジー・サービス等)
- ウェブサイト：<https://paramountbed-healthcarefund.jp/>



5-3. トピックス

スマートベッドシステムの販売を加速

医療スタッフの働き方改革推進に貢献

- ベッドサイド端末を核として、通信機能付きバイタルサイン測定器や電子カルテ、スタッフ端末、各種センサーなどのICT機器を連携させることで、入力業務や情報共有、夜間の見守り、データ活用などに貢献。
- 累計導入病院数：32病院（2023年3月末現在）

ベッドサイド端末



眠りSCAN(体動センサー)



スタッフステーション端末



大型画面で患者の状態を確認できる。



通信機能付
バイタルサイン測定機器



注意事項

本資料に記載した業績等に関する予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

従いまして、実際の業績は今後様々な要因により、記載した予想数値と異なる可能性があります。

また、本資料に記載の製品・サービス（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

本資料の金額表示は切り捨て表示しています。

予算比・前期比における％表示は、増減について±記号を用い、四捨五入表示しています。